



2024 年度 勉強に役立つ日本語クラス  
報告書



神戸 YWCA 学院

日本語コース

# 1.趣旨

神戸YWCA 学院は 1950 年代から約 60 年にわたり専門学校として日本語教育を行ってきた実績と効果的な日本語指導のノウハウを持っている。現在は公益財団法人としてより地域に密着し、多文化共生を実現するための活動を進める中で、地域に暮らす子どもたちの日本語支援にも力を注いでいる。

2023 年から 2024 年 4 月にかけて、大勢の学齢期の外国にルーツを持つ子どもたち（日本国籍も含む）が来日した。義務教育の現場では慢性的に教師が不足しており、クラスに日本語が分からない児童生徒がいる場合、教師がその子どもに十分に対応することは、非常に難しい現状がある。

神戸YWCA 学院では、外国にルーツを持つ子どもたちを支援する「子ども日本語トータル・サポート」というプログラムを、形を変えながら 2008 年以降行っている。来日したばかりの子どもたちを対象とした STEP1 で、基礎的な日本語力を伸ばすための支援を、また、STEP2 において、学校生活、進学などの支援と行っている。「夏休み勉強に役立つ日本語クラス」は、STEP1 のプログラムにあたる。

夏休み勉強に役立つ日本語クラスでは、神戸YWCA 学院が長年培ってきた外国につながる子どもたちへの支援のノウハウを他団体にも共有していく「公共財化」にも力を入れている。オリジナル教材である「勉強に役立つ日本語 初級1」は、本冊、語彙ノート、絵カードを神戸YWCA 学院のホームページで公開し、無料でダウンロードできるようにしている。また、他団体の支援者に広く呼び掛け、多くの支援者の見学も受け入れている。

# 2. 内容

## (1)対 象

年齢枠はなく、「学校の勉強のために基礎的な日本語を勉強したい児童生徒」。

## (2)日 時

2024 年 7 月 22 日（月）～8 月 2 日 全 10 日間（土日・祝日は休み）

## (3)プレイスメントテスト・クラス分け

事前に日本語、教科（数学）の力を知るために、プレイスメントテスト（筆記試験・日本語インタビュー）を行った。

日本語レベル・年齢・居住地等を考慮して、日本語クラスは下記（4）1）①～③の 3 クラス、教科につながる日本語クラスは下記（4）2）①～④の 4 クラスにクラス分けをした。

日本語文化に触れる体験学習「うちわづくり」は全員参加のクラスとし、夏休み勉強に役立つ日本語クラス修了生の体験談を聞く「先輩の話を聞こう」は、（4）1）②の学習者以外の学習者が参加した。

## (4)学習形態・学習内容

### 1) 日本語

基礎的な日本語学習・・・初級レベルの日本語を学ぶことを主な目的とする

#### ①基礎的な日本語学習クラス

レベル別 2 クラス

主に小学校高学年、中学生、高校生対象

②基礎的な日本語学習 個別授業

小学校低学年の子ども対象

③基礎的な日本語学習 個別授業オンライン

通学が困難な遠方に居住している子ども対象

2) 教科につながる日本語学習(50分×1コマ/日)

教科につながる日本語学習・・・教科を理解するための日本語の習得を目的とする

①数学

主に中学生、高校生対象

②読解に繋げるクラス

日本語クラス2対象

③表記のクラス

日本語クラス1対象

④地理クラス

日本語クラス1、2対象

3) 日本文化に触れる体験学習「うちわづくり」

うちわ作成

全クラス対象（オンラインを除く）

4) 「先輩の話を聞こう」

クラス1・2対象

(5) プログラム担当者

すべてのクラスの授業は、神戸YWCA 学院日本語コースの登録日本語講師が担当した。

「教科につながる日本語学習」クラスには、学校での教科指導の経験のある日本人サポーターと、夏休み勉強に役立つ日本語クラス卒業生の先輩サポーターが、授業の補助を行った。

- 神戸YWCA 学院 日本語コース登録日本語講師 9人
- 日本人サポーター 2人
- 先輩サポーター

2人（高校1年生 中国にルーツ、大学4年生 ネパールにルーツ）

## (6) 時間割り

		7/22(月)		7/23(火)		7/24(水)		7/25(木)		7/26(金)	
		クラス1	クラス2	クラス1	クラス2	クラス1	クラス2	クラス1	クラス2	クラス1	クラス2
10:00-10:50	1	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語
11:00-11:50	2	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語
12:10~13:00	3	教科のための日本語 (表記)	教科のための日本語 (読解)	教科のための日本語 (数学)		教科のための日本語 (地理)		教科のための日本語 (表記他)	教科のための日本語 (読解)	教科のための日本語 (数学)	
日本語個別授業											
10:00~10:45				個別授業 1				個別授業 1		個別授業 1	
11:00~11:45	個別授業 2			個別授業 2				個別授業 2			
12:00~12:45	個別授業 3			個別授業 3				個別授業 3			
オンライン	オンライン			オンライン				オンライン			

		7/29 (月)		7/30 (火)		7/31 (水)		8/1 (木)		8/2 (金)	
		クラス1	クラス2	クラス1	クラス2	クラス1	クラス2	クラス1	クラス2	クラス1	クラス2
10:00-10:50	1	日本語	日本語	日本語	日本語	日本文化体験学習 (うちわづくり)		日本語	日本語	日本語	日本語
11:00-11:50	2	日本語	日本語	日本語	日本語			日本語	日本語	日本語	日本語
12:10~13:00	3	教科のための日本語 (表記)	教科のための日本語 (読解)	教科のための日本語 (数学)				教科のための日本語 (数学)		先輩の話を聞こう	
日本語個別授業											
10:00~10:45		個別授業 1		個別授業 1		日本文化体験学習 (うちわづくり)		個別授業 1		個別授業 1	
11:00~11:45		個別授業 2		個別授業 2				個別授業 2		個別授業 2	
12:00~12:45		個別授業 3		個別授業 3				個別授業 3		個別授業 3	
オンライン		オンライン				オンライン					

## (7) オリジナル教材

このクラスでは当初、市販のテキストを使っていたが、クラスの内容に合うものがなく、2013年度から自主教材を作成し、毎年改訂作業を行ってきた。子どもが対象であること、短期間で集中的に日本語能力を伸ばす必要があることを考えたとき、市販のテキストを使用すると一つの文法項目を習得するのに時間がかかってしまう。神戸YWCA学院のオリジナル教材「勉強に役立つ日本語 初級1」「勉強に役立つ日本語 初級1 言葉ノート」は、扱う文法項目をコンパクトにまとめており、短期間で効果的に日本語を身につけることができる。オリジナル教材は、内容、語彙などについて見直す改訂作業を毎年重ねている。昨年からは、「公共財化」の一つとして、「勉強に役立つ日本語 初級1」を、神戸YWCA学院のホームページから、テキスト、語彙ノート、絵カードをダウンロードできるようにした。今後、「勉強に役立つ日本語 初級2」も公共財化に向けて、同様にダウンロードできるように、準備している。

また、「教科につながる日本語学習」クラスについては、市販のテキスト、オリジナル教材などを使って指導を行った。

## (8) 授業見学会

今年度も神戸 YWCA が長年培ってきた外国につながる子どもたちへの支援のノウハウを他団体にも共有していく「公共財化」の観点から、授業見学を広く受け入れた。こども日本語サポートひろば、神戸市立兵庫中学校北分校、神戸市丸山中学校西野分校、神戸市立布引中学校より教師、地域の支援団体より支援者がのべ 17 人が見学した。

見学前にこのコースの概要を説明し、オリジナルテキストを手にとってもらった。子どもが参加を決めるまでの学校や他団体との連携、クラス編成、テキストの入手方法など多くの質問をいただいた。

見学後には、担当講師との質疑応答の時間を設けた。学校の先生方の中には、日本語指導の知識・経験のないまま日本語指導を担当している方も多く、基本的な指導法についての質問が多かった。

見学後のアンケートによると、見学会は見学者に概ね好評だった。

## (9) 成果

### 1) 加西市国際交流協会「ねひめカレッジ」との連携

以前より繋がりがあった加西市国際交流協会「ねひめカレッジ」と初めて連携した。兵庫県の阪神地区に比べると、加西市では、日本語支援の教室や、プロの日本語教師の指導が受けられる機会は少ない。遠方のため神戸 YWCA 会館での対面授業は不可能なので、オンラインクラスを設けた。

### 2) 多様なクラススタイル

今年度のクラスの特徴としては、対象者の環境、年齢、レベルに合わせて、学習形態を細かく変えたことが挙げられる。

小学校低学年の日本語ゼロレベルの子どもは、年齢が低く集中力が持続しないことから、1 日 45 分とし、それぞれの能力、背景に合わせて個人指導を行った。送迎を必須としたので、講師が毎回、保護者に授業での様子を報告、また保護者から家庭での様子も聞け、情報交換が行えた。その上で、講師が授業を組み立て、子どもの様子を見ながら効果的に授業を進めることができた。

通常の 2 つの日本語クラスに 10 日間毎日神戸 YWCA へ通った子どもたちは基礎的な日本語力、また教科に関する基礎的な知識を得ることができた。日を追うごとに発話が増え、表情が生き生きとし、休み時間にクラスメートとよく遊ぶようになった。精神的にも安定した子どもたちは、授業での発言が増え、自信が持てるようになった。

### 3) 日本文化に触れる体験学習「うちわづくり」の実施

今年度の新しい取り組みとして、時間割りに取り入れた。日本の義務教育で行う「図工・美術」クラスが、行われない国もある。そこで、日本文化に触れる体験学習で、「うちわづくり」を行うことで、「図工・美術」クラスも体験してもらうことにした。

うちわに筆で字や絵を描いたり、シールを貼ったりして、子どもたちが自分を自由に表現することができた。これは、言葉が十分に話せない子どもたちにとって、自己形成につながった。小学校 1 年生から高校 1 年生まで、それぞれが集中して、とてもいい作品ができた。参加者が 18 人になり、大勢の支援者の手を借り、交流を持つことができた。

### 4) 教科につながる日本語学習

①教科クラス(数学)は、毎年「 $+$   $-$   $\times$   $\div$   $=$ 」の日本語の読み方から始まる。日本は「計算問題は自分で解く」が常識だが、「計算機を使用する」ことが常識の国もある。このクラスでは基本的な計算から、子どもたちが苦手な分数までを学習した。また、図形で習う数々の語彙を日本語に置き換えた。

②地理クラスでは、「今、どこにいますか」を実際に地図を見ながら学習した。まず、今勉強している神戸YWCA学院の位置を神戸市中央区の地図で確認した。同時に海、山、空港、阪急、JR、阪神の3つ電車も確認した。次に神戸市の地図で私の家、友だちの家を探した。そして、兵庫県の地図で、神戸市以外に住んでいる友だちの家を確認した。このように少しずつ範囲を広げ、最後に日本地図から、今いる神戸市を確認した。ほとんどの子どもは小学生で学習する地理を知らないままなので、基本的な地理を学習することは、とても意義がある。

#### 5) オンラインクラス

居住地が遠方、保護者による送迎不可などで、神戸YWCAに通えない子どもを対象に、ZOOMでのオンラインレッスンを行った。オンラインレッスン実施の際には、環境整備に地域の学習支援団体、保護者などにご協力いただいた。

初期の日本語指導の場合、対面授業では外国語を使用せずに進めるが、オンラインクラスは日本語だけの指導は難しいので、母語が話せる講師が担当した。

テキスト「勉強に役立つ日本語 初級1」の絵カードを神戸YWCA学院のHPにアップし、オンラインクラスで使用できるようにした。講師の工夫により、自宅というリラックスした空間の下で日本語が学べ、回を追うごとに講師との信頼関係を築くことができた。

#### 6) 先輩サポーター

このクラスを修了し、高校、大学に通学している子どもたちが、授業に先輩サポーターとして参加し、母語で子どもたちを支援した。授業後、子どもたちから質問を受け、見学に来た支援者とも交流を持ち、外国にルーツ持つ子どもたちが抱えている様々な問題点などを共有することができた。

### (10)これからについて

引き続き、学校の先生方、地域の支援者、ご家庭に神戸YWCAの「子ども日本語トータルサポートプログラム」への理解を深めていただくために、どのような方策があるのか考え、それを実施することが課題である。また、このプログラムを卒業した先輩のマンパワーはとても貴重であるので、今後とも関係を継続していきたい。

## 3. 参加者について

参加人数 19人

### (1) 国籍

ネパール	7人
パキスタン	4人
中国	5人
バングラディシュ	2人
ベトナム	1人

### (2) 居住地域

神戸市中央区	5人
神戸市北区	3人
芦屋市	1人

西宮市 3人  
三田市 3人  
伊丹市 1人  
加西市 3人

### (3) 年齢

6～8歳 3人  
9～12歳 4人  
13～15歳 10人  
16～18歳 2人

### (4) 学習者の集め方

- 地域の外国にルーツを持つ子ども支援団体への案内
- 近隣の小中学校への案内
- 各教育委員会への案内
- 神戸 YWCA 学院日本語講師への案内は



## 4. 後援・寄付・助成

### (1) 後援

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会

### (2) 寄付

寄付者名（個人 順不同）

西村幸枝 岡山直道 高橋智子 山崎恵 玉越由美子 西本玲子 川辺比呂子 飛田雄一・みえ子  
角浩子 三浦啓子 茶本卓子 匿名

2024. 8 末現在

### (3) 助成金

赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン  
外国にルーツがある人々への支援活動応援助成



### (4) 主な経費について

講師給与

- ・授業実施に係る費用。

日本語指導のスキルを持つプロフェッショナルな日本語教師が、日本語及び教科クラスを担当した。

- ・教材作成に係る費用。

このクラスで使用する神戸 YWCA が独自に開発したオリジナル教材の作成及び教材改訂翻訳作業を行った。

- ・クラス運営に係る費用

カリキュラム作成 学習者募集 プレイメントテスト実施 クラス分け 担当講師手配 見学会の実施 関連団体等との連絡調整 学習者・保護者への対応 ほか

講師交通費

講師の、授業担当及び打合せ参加に係る交通費

事務局経費

お問い合わせ

神戸 YWCA 学院 日本語コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10  
tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692  
e-mail: saito@kobe.ywca.or.jp  
www.kobe.ywca.or.jp

**YWCA**

（ワイ・ダブリュー・シー・エー  
（Young Women's Christian Association）は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語  
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社  
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ  
る平和な世界を実現する国際 NGO です。

